

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 1 部門第 2 区分

【発行日】 令和 4 年 10 月 7 日 (2022.10.7)

【公開番号】 特開 2021-45220 (P2021-45220A)

【公開日】 令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)

【年通号数】 公開・登録公報 2021-015

【出願番号】 特願 2019-167857 (P2019-167857)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 9 月 29 日 (2022.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の発光手段が設けられる前枠と、

前記前枠に形成される開口部を介して視認される表示手段と、

前記表示手段の前方における所定の位置へ移動して集合可能な複数の可動部材と、を備える遊技機であって、

前記複数の可動部材は、第 2 の発光手段がそれぞれ設けられ、

前記複数の可動部材が前記所定の位置に向かって移動するとき、前記複数の可動部材のうち特定の可動部材に設けられた前記第 2 の発光手段の発光態様と、前記前枠に設けられた前記第 1 の発光手段の発光態様とが同一の態様となり、

30

前記複数の可動部材が前記所定の位置に向かって移動するとき、前記複数の可動部材のうち前記特定の可動部材を除く他の可動部材に設けられた前記第 2 の発光手段の発光態様と前記前枠に設けられた前記第 1 の発光手段の発光態様とが異なる発光態様となり、

前記複数の可動部材が前記所定の位置で集合した状態のとき、前記複数の可動部材のうち特定の可動部材に設けられた前記第 2 の発光手段の発光態様と、前記前枠に設けられた前記第 1 の発光手段の発光態様とが同一の態様となり、

前記複数の可動部材が前記所定の位置で集合した状態のとき、前記複数の可動部材のうち前記特定の可動部材を除く他の可動部材に設けられた前記第 2 の発光手段の発光態様と前記前枠に設けられた前記第 1 の発光手段の発光態様とが異なる発光態様となる、

ことを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

[適用例 1]

第 1 の発光手段が設けられる前枠と、

前記前枠に形成される開口部を介して視認される表示手段と、

前記表示手段の前方における所定の位置へ移動して集合可能な複数の可動部材と、を備

50

える遊技機であって、

前記複数の可動部材は、第２の発光手段がそれぞれ設けられ、

前記複数の可動部材が前記所定の位置に向かって移動するとき、前記複数の可動部材のうち特定の可動部材に設けられた前記第２の発光手段の発光態様と、前記前枠に設けられた前記第１の発光手段の発光態様とが同一の態様となり、

前記複数の可動部材が前記所定の位置に向かって移動するとき、前記複数の可動部材のうち前記特定の可動部材を除く他の可動部材に設けられた前記第２の発光手段の発光態様と前記前枠に設けられた前記第１の発光手段の発光態様とが異なる発光態様となり、

前記複数の可動部材が前記所定の位置で集合した状態のとき、前記複数の可動部材のうち特定の可動部材に設けられた前記第２の発光手段の発光態様と、前記前枠に設けられた前記第１の発光手段の発光態様とが同一の態様となり、

前記複数の可動部材が前記所定の位置で集合した状態のとき、前記複数の可動部材のうち前記特定の可動部材を除く他の可動部材に設けられた前記第２の発光手段の発光態様と前記前枠に設けられた前記第１の発光手段の発光態様とが異なる発光態様となる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50